戦いの第一公会議

戦いの第一公会議

アグリッパ・ファンダリウス　著

この説明は様々なインペリアルとダンマーの情報に基づいて西方の読者のために帝国の学者アグリッパ・ファンダリウスが書いた物である。



戦いの第一公会議は、世俗的なダンマー諸家のドゥーマー、ダゴス、正統派ダンマー諸家のインドリル、レドラン、ドレス、フラール、テルヴァンニの間で起きた、第一紀の宗教衝突である。第一公会議は最初の汎ダンマー自治組織であったが、ドゥーマーによる魔術や付呪行為が他の諸家から冒涜とみなされたことによって崩壊した。

世俗派の諸家は数こそ少なかったが政治的にも魔術的にも進歩しており、土地や戦利品を約束したノルドやオークの諸家から援助を受けた。最初はモロウウィンドの北方で大成功を収め、それから現在のレドラン、ヴァーデンフェル、テルヴァンニ地区からなる土地のほとんどを占領した。正統派の一族は広範囲に散らばっていて、まとまりが悪く、ネレヴァルが全一族部隊の将軍になるまで敗北を喫していた。

ネレヴァルは遊牧民部族の援助を得て、ヴァーデンフェルのレッドマウンテンにある世俗派の要塞に大攻勢をかけた。アシュランダーの斥候の助けもあり、世俗派側の舞台は裏をかかれて敗北し、生存者はレッドマウンテンにあるドゥーマーの要塞まで後退した。

短い包囲攻撃の後、ネレヴァルとその軍隊は要塞の中に入ることができた。そこで世俗派の指導者は殺されたが、ネレヴァルも致命傷を負った。将軍は徹底的に虐殺を行い、ドゥーマーとダゴスの諸家は断絶した。そして傷を負ったネレヴァルは、間もなくこの世を去った。

正統派の中の3人--ヴィベク、アルマレクシア、ソーサ・シル--が再結成された第一公会議で実権を握った。これはモロウウィンドの大議会と名づけられ、やがてトリビュナルもしくはアルムシヴィとして知られる神王と不滅の君主を生むこととなった。

戦いの第一公会議

FormId	skyrim.esm:01B272
Owning plugin	skyrim.esm
Local FormId	01B272
Editor ID	Book4RareWaroftheFirstCouncil
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyBasicBook04a
Value (gold)	25
Type	Book or tome
Weight	1
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	VendorItemBook
Locations	206
Leveled lists	11
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.